

事業番号	事務事業名	かがみのっ子表彰事業費	所管課名	生涯学習課	令和 2 年度課長名	黒瀬 豊
05965	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	生涯学習係	担当者・シート作成者	池田 亜加理
	施策名	33 青少年の健全育成	根拠法令等	かがみのっ子表彰に関する条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	①被表彰者の氏名・居住地区の抽出 ②担当区長の調査 ③被表彰者が居住する地区の区長に被受賞者がいることを通知 ④区長に賞の推薦依頼 ⑤選考委員会(被表彰者全員の賞を決める) ⑥表彰式	平成6年度からペスタロッツ賞表彰事業が開始される。翌年総合計画が策定され、「日本のペスタロッツタウン鏡野」のキャッチフレーズのもと、小中学生を対象に知・徳・体の調和の取れた人間形成や青少年健全育成事業に全町あげて取り組む。合併後は、かがみのっ子賞表彰事業として事業を継続する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 町内小学校6年生児童	ア 町内小学校6年生児童数	人	見込 実績	98 98	116 116	113 113	120	120
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 児童の個性をのばす	ア 表彰式への参加人数	人	目標 実績 達成率	98 44 44.9%	98 64 65.3%	98 110 112.2%	98	98 112.2%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 表彰式	ア 表彰式の回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 7 700.0%	1	1 700.0%
イ 推薦	イ 推薦の取りまとめ数	件	目標 実績 達成率	98 98 100.0%	116 116 100.0%	113 113 100.0%	120	120 94.2%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01	款 10	項 06	目 01	大事業	中事業	予算上の事業名					事業番号	
	一般会計	教育費	社会教育費	社会教育総務費	08	01	かがみのっ子表彰事業費					05965	
予算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比	決算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町債							町債						
その他特財							その他特財						
一般財源	286	286	292	237	237	6	一般財源	161	138	113	237	237	-25
合計	286	286	292	237	237	6	合計(A)	161	138	113	237	237	-25
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1		
	延べ業務事務時間						350	350	350	350	350		
	人件費計(千円)(B)						1,184	1,225	1,170	1,173	1,173		-55
最終予算額		292千円	予算執行率	38.6%	トータルコスト(A+B)		1,345	1,363	1,283	1,410	1,410		-80
主な支出事業内容(予算)	報償費	82千円					主な支出事業内容(決算)	報償費	20千円				
	需用費	193千円						需用費	84千円				
	役務費	17千円						役務費	8千円				

事業番号	05965	事務事業名	かがみのっ子表彰事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 現在は地域からの推薦がほとんどないため、区長を介して学校や保護者に推薦書の提出をお願いして、賞を決定している。地域からの推薦という本来の趣旨にそえない状態。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全員が集まっての表彰式ではなく、各小学校(7校)に訪問し、学校単位で表彰式を行った。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 推薦をお願いする区長が当該児童の把握が出来ない状態なので、平成22年度から児童の氏名を担当区長に知らせ、事業の周知を図った。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 該当児童を把握していない区長もあり、区長推薦の必要性について問われている。小学校の先生、該当児童からは事業に対して好意的な意見が多い。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	対象児童からは表彰してもらえて良かった、励みになったなどアンケートに答えている。子どもの達の自信とやる気を起こすきっかけをつくる事業であり、政策体系と結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	地域全体で子どもを見守り育てる事業であり、町の関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	対象を広げると今以上に子どもの把握が難しくなる。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	表彰式の出席率を上げるために、スポーツ少年団や明るい家庭作文などの事業、学校行事と重ならないよう日程を調整する必要がある。しかし、中央公民館が事業を担当する場合は、2月以外の実施は難しい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
公平性 評価	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がない <input type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	現在は地域からの推薦がほとんどないため、区長を介して学校や保護者に推薦を依頼しているのが現状である。地域からの推薦という本来の趣旨にはそえていない。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	町内の小学6年生を1か所に集めて表彰するのではなく、小学校単位で表彰式を行う。6年生以外の児童についても、かがみのっ子表彰事業について知る機会になる。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	需用費及び役務費は最低限で支出している。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	事務作業に手間と時間がかかっている。しかし、多くの個人情報等があり民間委託にはできにくい。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	町内の小学6年生全員を対象としており、公平である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域から推薦という事業の趣旨にそった推薦が少ない。(多くが保護者からの推薦) ・推薦者(区長等)が、対象児童がわからない場合が多い。 ・今年度は小学校単位で表彰式を行ったため、ほぼ全員の対象児童が式に参加することができた。また、その場に同席していた他学年の児童もかがみのっ子表彰の存在を認識することができた。 																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 個人情報を守りながら、事業告知と趣旨の周知徹底を行い、地域からの推薦を増やす。 表彰式のあり方(1か所なのか、学校単位なのか)を検討する必要がある。また、事務作業が多く、効率化・簡略化をしていく必要がある。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
子どもと地域の大人たちとの交流の場を増やすことで、各地区の方に子どもの存在を知ってもらう。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							